

●第74号(一九八二年六月)

特集・横浜と農業

「明るい農村」から見た日本の農業と農村——中山亮一
都市と共に生きる農業——井一光義
農業基盤の確立をめざして——中村博美
横浜農業の現状を追う

①都市農業に社会的価値を——大島千恵子
②横浜を歩く——編集部
反骨の条件——農協の現状と課題——小川玄三郎
後継者はいないのか——矢沢定則
農業と都市の連帯

①公園と農地の共存

小泉信三 岡部晴雄

②「市民農園」による都市づくり

前川 慎 椎名公三

③契約栽培を通じた結びつき

北沢 猛 中山正己

行政研究

都市デザインと市民の意識

北沢 猛

新書紹介／自治体の情報公開

中山正己

●第75号(一九八二年九月)

特集・横浜と工業

大都市における工業市街地の現状と課題——小林重敬

横浜における産業の現況と課題——中村 実

横浜における工場立地規制と住工混在——江成藤吉

横浜の中小工業の今日——碓井 貢

金沢工業団地工場移転の経過とその課題——山田 稔

大谷高久 高橋道夫 吉田正博

横浜の工業と公害対策——鈴木 祥

工業の新しい動き

①研究開発型機能の存立条件

片岡純一郎

②ベンチャー型中堅企業

内山 康

これからの横浜を担う都市型成長工業——渡辺巧教

行政研究

地域的データ管理のシステム化(上)——大森 敬
コミュニティ道路試論——三浦 良
新書紹介／韓国人の心——加藤勝彦
●第76号(一九八二年十二月)

特集・都市と水環境
水辺再生の論理——森 清和
河川環境回復の道——品田 稔
川と技術と住民——宮村 忠
座談会・水環境と下水・河川行政——石橋友治

鈴木重之 中村芳之 武藤 高 高井 芳

横浜の河川環境を考える——吉村伸一

水辺と市民——田口俊夫

横浜と海

①都心部の水際線

森誠一郎

②魚の生息環境と富栄養化問題

畠中潤一郎

行政研究

ビルタンク水にみる飲料水としての安全性——唐沢 栄
都市環境の変化に対応する予算システムの展望——金子延康

地域的データ管理のシステム化(下)——大森 敬

新書紹介／水紀行——松岡恒司

●第77号(一九八三年三月)

特集・職員の自主研究

私のテーマと仕事——岩崎駿介

「考える研修」を目指して——河野 勉

自主研究の体験から

●応募グループ運営の難しさ——魚谷憲治ほか

●地区センター調査の五年間——北内陽子

●福祉現場での自主研究——田中文夫

行政現場における研究への期待——星野信也
行政研究
区におけるまちづくりと地区カルテ——区におけるまちづくりと地区カルテ研究グループ
区役所における

地区カルテづくり——川人政憲
ミニ開発の現状と対策——ミニ開発問題研究会
横浜都心部の課題と都心型住宅(序論)

美術館のあり方——都心問題研究会
現代社会と博物館——越智二郎ほか

よこはまのホタル——清水富士男ほか

ハンブルグ州出資企業群とその特色——前田 寿

新書紹介／エントロピーの法則——佐藤信二

昭和58年(1983年)6月30日

編集・発行——横浜市企画財政局都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・261-7961 郵便番号——231

印刷——内村印刷株式会社

横浜市中区末吉町1-12

●横浜市のデータ

人口 2,882,832人<58.6.1>

世帯数——983,597<58.6.1>

面積——429,88 km^2 <58.6.1>

全文書量(除・行政委員会事務局等)——2億3,470万枚<56年調査>

職員1人当たりの文書枚数——11,300枚<56年調査>